

新城市民病院での地域研修について

豊橋市民病院 研修医

地域研修として新城市民病院に来て、毎日今までの救急外来とは違い、患者さんの話をしっかり聞き、身体所見をとり、何を疑って検査をするのかをしっかりと考えさせてもらいました。毎日の振り返りでは自分がみさせていただいた患者さん一人一人を先生方に発表し、アドバイスを頂けるため、とても参考になり、またもう少し問診、身体診察についても勉強しなければと思いました。

新城市民病院に来て思ったことは、今まで救急外来では特に患者さんというより「病気」を診ていましたが、新城では高齢の患者さんが多いこともあり、問診で何人暮らしなのか、介護度、食事から排泄までどのような生活をしているかが、「患者さん」をみるうえでとても大切だということを教えていただきました。この経験を活かし少しでも今後病気だけではなく「患者さん」をしっかりみられるようになればと思います。

毎日の勉強会、up to date 発表、EBM 勉強会はとても勉強になりました。今まで気になったことを論文や文献を調べることはあまりなかったため、新しい経験であり、今後も自分で調べて臨床に生かせるようになりたいと思います。

作手診療所では、小さい地域、小さい診療所での診察について学ばせてもらいました。できる検査も限られているうえでは、よりお話を聞くことや身体診察が大切になってくることを感じました。また、病院よりも診療所の方が、より患者さんとの距離が近いように感じ、様々な悩みも含めて話を聞くことも診療の一つだと感じました。

訪問看護、訪問リハビリでは患者さんのお宅に訪問し、実際に退院された後どのような支援を受け、どのように生活しているかを知ることができました。今後は退院する際もどのような環境になるかを想像したうえで診療できたらと思います。

しんしろ助産所ではこの地域で唯一の助産所で産科の先生がいない中での地域での役割を教えてくださいました。助産師さんの地域での役割の重要さを感じました。

最後に

この1ヶ月新城市民病院の先生方、スタッフの方々に大変お世話になりました。

先生方には未熟な私に様々なアドバイスをさせていただいたり、経験をさせていただきとても感謝しています。

スタッフの方々もこの地域のことなど何も知らない私にこの地域の地理や環境、どのような診療体制になっているかなども詳しく教えていただきとても勉強になりました。

1ヶ月新城市民病院でとても貴重な経験を積むことができました。

今後はこの経験を生かして診療していきたいと思っています。ありがとうございました。